

ワークキャンプ2020-2 6月24日(水)から26日(金)

梅雨時の松田はアジサイが満開で、富士山の雪も薄くなって、夏山らしい姿を見せてきます。2回目のワークキャンプは空が白み始めてきた午前4時に出発。山荘までは約200km、早朝に出発すれば4時間かからないでしょう。

今回の目標は「ロフトの床」を仕上げ、一階部分の間仕切り(壁作り)と木材の在庫を確認して追加購入すべきか検討します。壁の材料になる間柱や垂木は横浜の工務店からだいぶいただきましたが、集材所の在庫も少なくなってきました。OSB材(壁に使用)は数枚余る程度で、補修用としても確保できます。その他に構造材としてのベニアが6枚ほど余るので、又活用できるでしょう。ビス類などは友人から頂いた物がまだ箱単位(1000本)残っていたので心配有りません。そして、床材(フローリング)は60坪分いただいた物(種類は多種)があり、夕方にはあと7坪分追加でもらってくることになりました。

山荘には8時に到着! 気温15°C 天候は霧(雲の中にいるようです)食材などをログハウスの冷蔵庫に収納して、各建物の解錠と窓開け、現場(ホール)の電源を確保して電動工具の充電作業などを行います。9時ごろに尾方さん到着。何からやるのか? 打ち合わせをしてから、ロフトの仕上げ作業を行い、1階の作業を行うことにしました。ロフトに使用したのは天然木の無垢材で湿度などで反るために、ボンドを使用するので非常に手間がかかりましたが、仕上がりは素晴らしく、一番高い材料です。ロフトは風通しが良く、下でストーブを炊けば秋でも暖かく寝心地も良さそうです。午前中にロフトの仕上げまで終わり、昼食(冷やし中華)涼しいので、温かい物が良かったかな。午後はトイレと台所の間仕切り作業。断熱材は入れないので、間柱を設置して両側からOSB材を張っていきます。14時ごろに尾方さんが用



事があるということで早めに作業終了、私も材木店に中島氏を訪問することにしました。佐久市内に一万里温泉(センチュリーホテル)があります。そこは何度もお世話になっていて、大雨の時には避難しました。大きな駐車場と結婚式



の世説などもあり、何時も駐車場は満車状態でしたが、あれ? 車が止まっていない、どうしたのか? 帰宅してから調べたら5月にコロナの影響で廃業したようです。残念ですね!

与志本プレカットセンター中島氏を訪ねるといつものように笑顔でむかえてくれました。自分からは言わないのですが、事

務員さんが中島さん4月から社長になったそうです。高森さん又何か持って行く？はい！と答えて、床材と扉の部品をいただてきました。

6月25日(木) 6時起床 外気温14℃ 室内21℃ 曇・はれ



が大合唱！ 体調はすこぶるいい。

作業は昨日の続きで、台所付近の間仕切りとカウンター作り尾方さんが、間柱を立てて、壁材のOSBを刻んでいくと、私がビスで壁を固定。だんだん慣れてくると作業もはかどります。電気工事が終わっていないので、完全に壁をしめることが出来ないで、そこは仮止めにして壁作りを進めて



量が多いので軽トラックに積んで、焼却場へ運搬。木片や生ゴミなども一緒に焼却処分しました。

明け方に小さいけど長く揺れる地震があり、ログハウスのガラス戸がカタカタ音を立てていた。遠くで大きな地震があったようだ(千葉で震度5弱 4:51) 6時に起床していつものようにお茶を飲んで、ジュースとヨーグルトの朝食。8時から作業開始
霧のため湿度は100%(倉庫の整理と材木及び材料の在庫調査) 9時ごろに尾方さん到着。色々な鳥が鳴き始めて、少し晴れてくると春ゼミ



いきます。10時に珈琲、昼食はサンマーメン

15時には作業終了。このペースだとあと一日で一階の壁は完成しそうです。今夜は温泉に行こうと思いましたが、夕方の気温が心地よく町に出るよりはこの環境を楽しもうと、ログハウスで読書することにしました。

科学者の武田邦彦先生「先入観はウソをつく」世の中の常識とされていることや、TVで発言している人のウソなどを科学的に説明している。

22時就寝！

6月26日(金) 6時起床 16℃ 22℃ 晴
朝から日差しがあり、霧も晴れているので朝一番の仕事は床材(フローリング)を梱包していた段ボールなどのごみを焼却します。

尾方さんが来たので昨日の続きの間仕切り作業を開始、台所と洗面所の仕切りを仕上げていきます。作業に慣れてきた頃には壁作りも終わりに近づきます。昼食は簡単に「磯辺焼き」とフルーツにヨーグルト。ホールの窓際でいただきました。



キャビンBの様子
室内は明るくて快適です

午後2時ごろに作業終了、次回からは床のフローリングを施工する予定です。日程は

7月10日から12日

7月24日から26日

を予定していますお手伝いいただける方は事前にお知らせください。

それでは松田まで帰ります。